

# OneLoginログイン発生レポート

02-07-25 米シャード

## 何が起こったのか

Provisioning サービスの継続的な問題を解決するためにデータベースの更新が実施された後、米国シャードの OneLogin サービスが応答しなくなりました。

## 影響を受けるシステム

- ポータル（米国地域）
- シングルサインオン（米国地域）
- MFA（米国地域）
- RADIUS（米国リージョン）
- バーチャルLDAP（米国リージョン）

## 根本原因

- サードパーティディレクトリへのパスワード同期など、Provisioningサービスの全機能を復旧するための緊急作業の一環として、テーブルの肥大化を修正するための緊急メンテナンスが実行されました。テーブルの肥大化に対するメンテナンスが下流のレプリカノードに同期されたため、既存のSQLセッションがロックされ、新しいクエリが作成できなくなり、サービス障害が発生しました。

## 修復措置の実施

- データベースノードは、テーブルの肥大化処理が完了するように順次オフラインにされ、その後、フロントエンドサービスとのアクティブな接続を再確立するために再起動された。

## 予防措置

- セッションロックの回避のため、緊急メンテナンス手順を更新。
- テーブルの肥大化につながるProvisioningサービスの問題の根本的な原因に対するコードの最適化。
- オーロラ・データベースの移行完了（2025年第1四半期予定）

## タイムライン

時間 (UTC)	イベント
02/07 06:06	米国W2地域でエラーが増加し始めた。
02/07 06:31	<b>インシデント宣言</b>
02/07 06:32	米国W2地域宛てのトラフィックを米国E2にリダイレクトすることで、米国W2地域はサービスを停止した。
02/07 06:35	同様のエラーは米国E2地域でも出始めている。
02/07 06:50	米国W2地域がサービスを再開。
02/07 08:20	エンジニアリングは、問題の原因として最近のデータベースメンテナンスを特定した。 彼らはサービスから削除し、データベースを同期させるために再起動させた。 このタスクは、1つのリージョンの各インスタンスに対して実行され、トラフィックはそのリージョンにリダイレクトされた後、各レプリカが再起動され、トラフィックがそのリージョンにもルーティングされる前に、他のリージョンで再同期された。
02/07 09:44	両地域ともエラーは収まった。
02/07 10:03	<b>インシデントクローズ</b>